

熊本市と三井住友海上火災保険株式会社とのSDGs推進に関する連携協定の締結について

熊本市と三井住友海上火災保険株式会社は、持続可能な開発目標（SDGs）の理念である「誰一人取り残されない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、双方の資源を有効に活用した事業に協働で取り組むことを目的として、「SDGs推進に関する連携協定」を締結します。

記

1 経緯

持続可能な開発目標（SDGs）の17ゴールを達成するためには、地方自治体及び企業や団体などあらゆるステークホルダーが積極的に連携して取り組むことが不可欠です。このような中、本年7月の熊本市の「SDGs未来都市」選定を契機として、三井住友海上火災保険株式会社から、地域防災力の向上をはじめ、持続可能な社会の実現に向けて、連携・協力して取り組みたいとの提案をいただき、連携協定を締結することとなりました。

2 連携事項

- (1) 地域防災力の向上に関する事
- (2) 循環型社会の構築に関する事
- (3) SDGsの理解促進に関する事
- (4) その他、SDGsの推進に資する取組に関する事

3 連携協定締結式

日時：令和元年（2019年）11月21日（木）16：15から

場所：熊本市役所5階 庁議室

出席者：三井住友海上火災保険株式会社 取締役社長 原 典之

熊本市 市長 大西一史